



SAP Ariba 

機能の概要

SAP Ariba Supplier Risk のサプライヤプロファイルで外部 ID が編集可能に

Lisa Gangewere, SAP Ariba

一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: SAP Ariba Supplier Risk のサプライヤプロファイルで外部 ID が編集可能に

今までの課題

お客様が、評価目的でサプライヤプロファイルの外部 ID を必須としているサードパーティプロバイダを認可している場合、CSV ファイルのロードを使用して更新を行わない限り、ID を変更することができません。

場合によっては、外部 ID が不適切に追加され、組織情報が正しく表示されないことがあります。

また、サプライヤ管理 CSV プロセスでのロード用にファイルを作成する必要はないものの、個々のサプライヤへの外部 ID の追加が必要になることがあります。

対象ソリューション

サプライヤリスク/サプライヤ管理

SAP Ariba で問題解決

SAP Ariba Supplier Risk に、サプライヤリスクマネージャが個々のサプライヤについてユーザーインターフェイスから外部 ID を編集または追加するための機能が導入されました。

手動による外部 ID の変更は、サプライヤプロファイルの [エンリッチ済みの企業情報] タイルにあるサプライヤ履歴リンクから入力します。

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

主なメリット

SAP Ariba Supplier Risk では、マネージャが外部 ID を追加したり、外部 ID を変更したりすることができます。

サプライヤプロファイルから、リスクマネージャは、[外部 ID] フィールドをクリックして必要な変更を加えることができます。

前提条件と制限事項

- お客様が外部 ID を必要とするプロバイダを認可しておく必要があります。
- サプライヤの外部 ID を編集するには、[サプライヤリスクマネージャ] グループのメンバである必要があります。

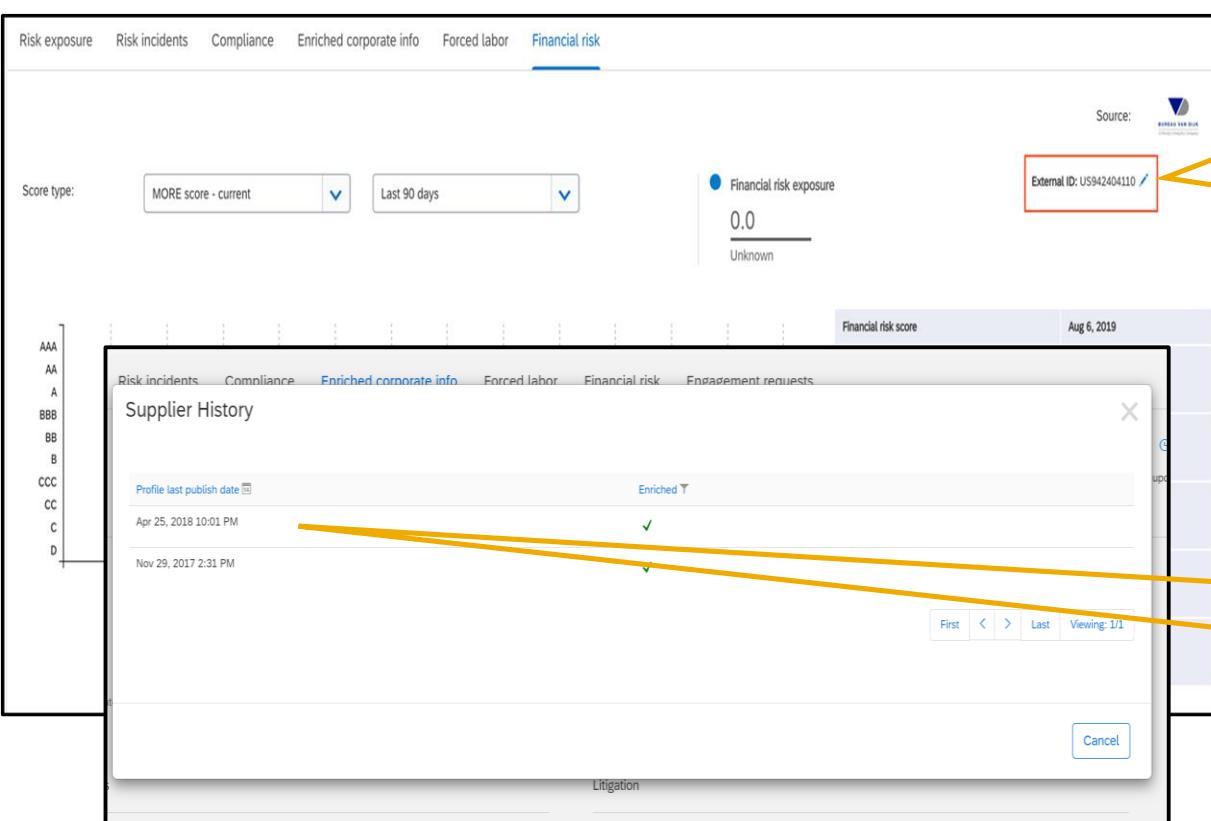
導入の難易度
ロータッチ/容易
対象エリア
グローバル

機能の概要

説明: SAP Ariba Supplier Risk のサプライヤプロファイルで外部 ID が編集可能に

機能の詳細情報

お客様が、サプライヤに対して評価対象の外部 ID を必須としているサードパーティのコンテンツプロバイダを有効化する場合、これまでにはサプライヤ管理から CSV ファイルのロードを実行して外部 ID を追加する必要がありました。ファイルのロードは複数のサプライヤの外部 ID をロードする場合に推奨されますが、リスクマネージャがサプライヤプロファイル内のユーザーインターフェイスから外部 ID を直接編集/追加できるようになりました。



- まだ評価対象として提出されていないサプライヤの外部 ID を変更する場合は、外部 ID の編集後に [評価のために提出] をクリックして、評価対象となるサプライヤを提出する必要があります。
- 以前に評価対象として提出済みのサプライヤの外部 ID を変更した場合、初回の提出に基づく事前にスケジュールされたタイミングで、プロファイル内の現在のデータが新しい情報に置き換えられます。履歴データは削除されません。[評価のために提出] をクリックしても、プロセスは促進されません。
- 外部 ID を入力する必要があります。[外部 ID] フィールドを空白のままにすることはできません。

- [エンリッチメント履歴] テーブルの名前が [サプライヤ履歴] に変更され、[サプライヤ変更の種類] という新しい列が追加されています。外部 ID を変更する場合、この列の値は [外部 ID] です。